

## 令和5年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	臨湖実習①（湖沼生態学実習）		
実習内容	<p>湖は閉鎖的で、他の生態系と区別しやすい。また、湖沼生態系の主要な構成員であるプランクトンは、定量的に採集しやすく、群集構造を解析しやすいという利点がある。そのため、湖沼は、非生物的環境要因と生物群集との相互関係を解析するのが比較的容易で、人間活動と生態系との関わりを理解するには理想的な場所である。本実習では、湖の生物の採集と観察の方法を学び、湖沼生態系の構造と機能、及びそれと人間活動との関わりについて体験的に理解する。</p> <p>長野県内の栄養段階の異なる湖沼（諏訪湖・木崎湖）について、環境要因（光環境・水温成層・水質）および生物（動植物プランクトン・水鳥）の現地調査を行う。湖沼間や調査場所（沖・沿岸）の環境の違いを考察する。</p> <p>諏訪湖および木崎湖での実習は、2泊3日で諏訪臨湖実験所に宿泊して行う。2023年8月8日午後よりガイダンスと講義を行い、8月9日に諏訪湖（諏訪市）の調査、8月10日に木崎湖（大町市）の調査を予定している。まとめ（講評）は、8月18日午前にオンライン講義として行う。このまとめでは、レポート内容の発表を行う。各自のレポートのテーマは、事前に提示したテーマから選択する。</p> <p>なお、新型コロナ対策のため、実習初日には、健康記録（様式自由）の提出を求めるので、日ごろから体温計測を欠かさないこと。</p>		
実習内容キーワード	湖沼、水環境、プランクトン、水鳥		
担当教員氏名・所属・役職名	宮原裕一・信州大学理学部・教授 笠原里恵・信州大学理学部・助教		
協力教員氏名・所属・役職名	朴虎東・信州大学理学部・教授		
対象学生・学年	学部1～4年、 修士	開講 期間	8月8日（火）～10日（木）：対面 これに加え、8月18日（金）にまとめをオンライン講義で行う。
開講大学・施設名	信州大学 理学部附属湖沼高地教育研究センター 諏訪臨湖実験所		
施設の住所	長野県諏訪市湖岸通り5-2-4		
電話	0266-52-1955	Fax	0266-57-1341
e-mail	miyabar@shinshu-u.ac.jp	Web Site	<a href="https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/science/kosyokochi/">https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/science/kosyokochi/</a>
交通案内	JR 中央線・上諏訪駅より、諏訪湖側へ徒歩10から15分		
費用	宿泊費（1,200円～1,900円×2泊）、食費・交通費は実費負担		
授業科目名	臨湖実習 I		
単位数	1	定員数	10
授業料の徴収について	なし ※公私立大学の学生については単位認定を行わないかわりに受講証明書を発行します。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	湖沼研究に興味を持つ学生であれば学部は問わない。単位互換の有無に関わらず、6月30日（金）までに申し込んでください。単位互換を希望する場合は、申込時に申し出てください。集合場所や持ち物などは、選抜後、信州大学理学部事務から連絡します。		
選抜結果連絡法	信州大学理学部事務から連絡します。		